

HULFT

C A S E S T U D Y

HULFT
HULFT-HUB

CKD株式会社

自動化で未来を拓く

CKD

海外拠点との情報連携基盤に HULFTとHULFT-HUBを採用 グローバル受発注業務のスピードアップと効率化を実現



海外拠点との情報連携基盤に HULFTとHULFT-HUBを採用 グローバル受発注業務のスピードアップと効率化を実現

自動機械装置や空気圧機器・流体制御機器などの省力化機器を製造・販売するCKDは、ASEAN地域や北米・欧州など海外へ積極的に進出し、グローバル展開を行っている。

従来の運用では電子メールやFAXで注文書を送付し、受発注業務を行っていたが、海外からの受注も増え、紙からシステムに転記する際のバックエンド業務の効率化や誤入力防止を図るため、日本と海外拠点との情報連携基盤を構築した。その基盤に採用されたのがHULFT-HUBだ。文字通り、HULFT-HUBが各システムのハブとして稼働することによるメリットや採用ポイントについて、情報システム部部長の土井孝寛氏とシステム企画グループリーダーの西村広幸氏にお話を伺った。



情報システム部
部長

土井 孝寛氏



情報システム部
システム企画グループ
グループリーダー

西村 広幸氏

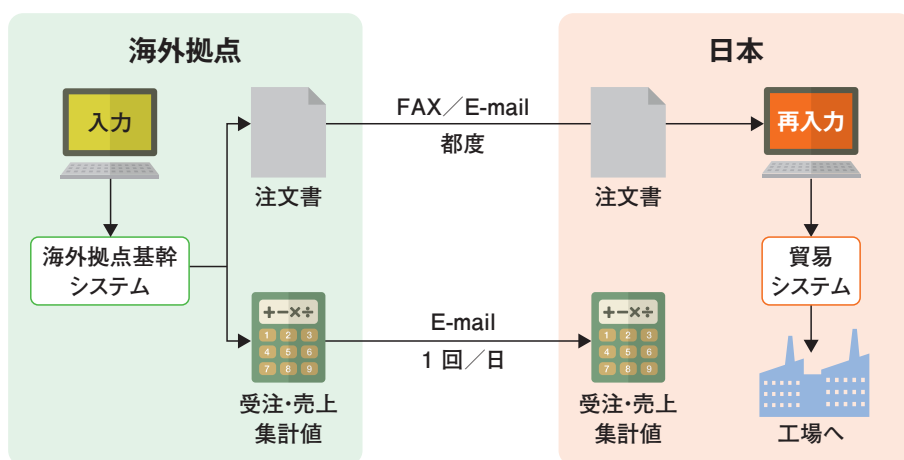
電子メールやFAXで帳票をやりとり 海外拠点との情報連携が課題に

CKDは、薬品自動包装システムやリチウムイオン電池用捲回機などの自動機械装置の製造会社。どちらも業界では、国内トップシェアを誇っている。自動機械装置のほかにも、空気圧機器や省

力装置、半導体用流体制御機器、汎用の流体制御機器といった機器商品を国内外で製造・販売している。生産・販売拠点は、アメリカやヨーロッパ、韓国、中国、マレーシア、タイ、シンガポールなど15の国と地域。これからも多くの国や地域に拠点を設立していく予定だ。

「グローバルで事業を展開する中で、

[当時の海外情報連携と課題]



- 日本側で再入力が発生
- 入力作業に時間がかかり、注文書の量によっては工場への手配が遅れ、結果的にお客様への納品遅れにつながるケースが発生
- 型番や数量など入力間違いにより誤出荷となるケースが発生
- 受注・売上情報は、集計値のみを日本へ報告しているため、販売戦略上、十分な分析ができない

User Profile

自動化で未来を拓く



CKD 株式会社

設立
1943年4月2日

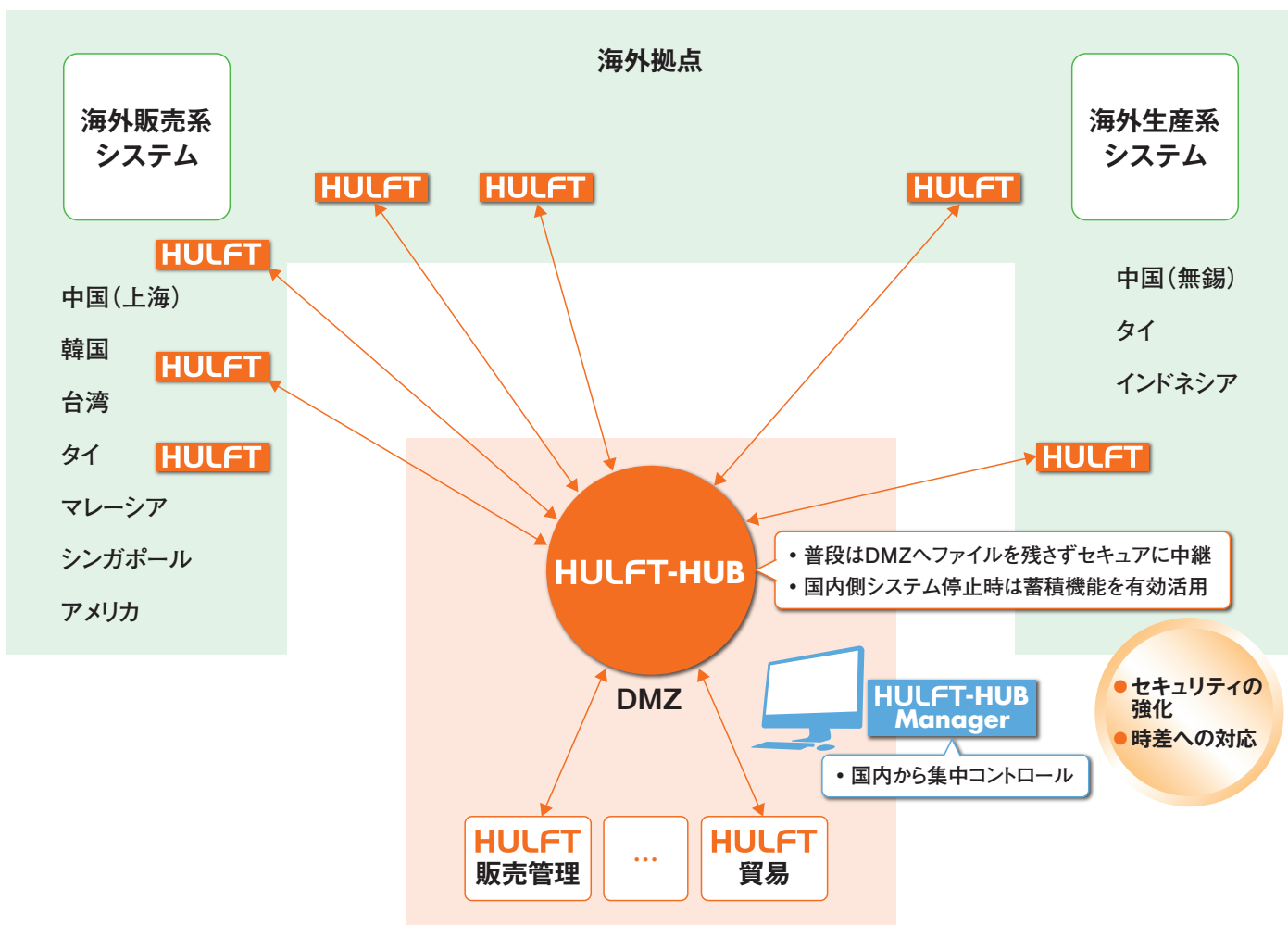
資本金
110億16百万円

従業員数
[単体]2,012名
[連結]3,294名(2015年3月末)

売上高
[単体]721億48百万円
[連結]833億79百万円(2015年3月末)

事業内容
自動機械装置及び省力機器、空気圧制御機器、駆動機器、空気圧関連機器、ファインシステム機器、流体制御機器など機能機器の開発・製造・販売・輸出

[HULFT + HULFT-HUBで具体化したコンセプト]



受発注に関する情報を日本と各海外拠点間で効率よくやりとりする必要がありました。そこで、情報連携基盤をどう構築するのかが大きな課題になりました」と情報システム部部長の土井孝寛氏は語る。

同社の場合、海外と国内の基幹システムはシステムが異なることや、回線品質の問題等もあってデータ連携を行っておらず、海外の販売拠点からは、注文書を電子メールやFAXで送信していた。届いた注文書は、そのまま国内のシステムにデータとして取り込めないため、その都度、日本側の担当者がシステムへ再入力した後、各工場へ手配していたのだ。

この場合、グループ全体としては、データの二重入力が必要になるため、その負担が大きい上、型番や数量の入力ミスも起きやすいという問題があった。「入力ミスに起因する誤出荷や納品までの遅延は未然に防止したいですし、生産性やデータ品質を向上させるためには、情報連携基盤の構築が不可欠だと考えていました」と情報システム部・システム企画グループのリーダー 西村広幸氏は振り返る。

各国のITインフラに左右されず、情報を確実に送達する信頼性の高いツールが必須

そこで同社は、グローバル情報連携基盤の検討を開始した。「EDIなどの多くのツールやソリューションを検討しました。その中で最も重視したのは、確実に情報をやりとりできる信頼性の高さです」と土井氏。

同社の場合、海外拠点との接続が前提になるが、国によってはITインフラの整備状況により、回線品質が低いところも少なくない。つまり、どんな拠点からでも確実にデータを送り届けられるツールでなければ、同社の要件を満たさないのだ。この条件だけで、採用できるツールはかなり絞り込まれた。

さらに同社の場合、拠点ごとに基幹システムの環境やシステムを構築した

ベンダーが異なっていた。情報連携基盤は、当然のことながら非常に多くのシステムと柔軟に接続する必要が出てくる。「小規模な拠点になるとIT担当者はいません。そのため、情報連携基盤の運用、管理は日本側で行いたいと考えていました」と西村氏は振り返る。

そのような中、セゾン情報システムズが提案したのが、国内ではトップシェアを誇るファイル転送ツール「HULFT」と、複数のHULFTを一元管理する「HULFT-HUB」を組み合わせた情報連携基盤の構築だ。

HULFTは、業種・業態を問わず多くの企業が採用しており、情報をやりとりするための事実上の業界標準となっている。低品質な回線でも確実にデータを送信するために、間欠転送や送達確認などの様々な機能が提供されているのも特徴だ。

HULFT-HUBは、連携するHULFTを統合管理できるのが最大の特徴。海外拠点のHULFTの設定変更が必要になった場合も、日本側で集中制御できる。加えて、中継データの蓄積や再送も可能。なんらかの障害発生により拠

点のHULFTへデータが送れない場合でも、HULFT-HUBの蓄積機能によりデータ保全ができる。

「HULFTは、以前から社内でも採用しており、実績についても信頼していました。ただし接続は1対1が基本であり、接続本数が増えると1本ずつメンテナンスが必要で、システム運用管理が煩雑になるので、HULFT-HUBを導入し、情報連携基盤を構築することに決定しました」と土井氏。

情報連携基盤の構築自体は、非常にスムーズに進んだ。海外拠点の基幹システムから受発注情報を出力できるようにカスタマイズする必要はあったが、一度設定すれば必要な情報を都度入手できるようになったという。

「情報連携基盤を構築したことで、再入力といった無駄な作業を削減でき、課題であった誤入力に起因する手戻りや誤出荷もなくなりました。また、注文書の情報を入力していたスタッフも別の業務に割り当てることができ、部門全体の生産性も向上しています」と西村氏。また同社では、構築した情報連携基盤を使い、海外拠点の受注・売上

情報を受け取り、実績データ分析にも活用しようとしている。

「システムを企画していた当初は、海外拠点から日本へデータを連携させることを主眼にしておりましたが、最近では、海外拠点同士でHULFTを使ったデータ連携を行い、海外拠点間の受発注業務にも活用しています。この情報連携基盤により、グループ全体で業務改善できる幅が広がったと思います」と西村氏。

今後も、グローバル展開を加速する同社にとって、HULFTとHULFT-HUBは欠かせないものとなっている。「ただし、国によってはHULFTを現地調達できない場合があります。セゾン情報システムズ様には、海外展開にもさらに注力していただき、どの国でも容易に購入でき、サポートを受けられる体制を整えてもらえると大変助かります」と土井氏。

HULFTは、同社のビジネスにとって必要不可欠だ。グローバル化へのアクセルを踏む中で、HULFTのグローバル展開への期待も大きい。

- HULFT、その他HULFT関連製品は、株式会社セゾン情報システムズの登録商標または商標です。
- UNIXは、The Open Groupの登録商標です。
- Windowsは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- 記載されている会社名及び製品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本カタログに記載されているシステム名、製品名などには、必ずしも商標表示(TM、®)を付記していません。



[お問合せ先]
株式会社 **セゾン情報システムズ**

HULFTフリーダイヤル ☎0120-80-8620
※利用時間 9:15~17:45(土・日・祝日および年末年始を除く)

HULFT事業部
〒170-6021 東京都豊島区東池袋3-1-1
サンシャイン60 21F
TEL 03-3988-5301 FAX 03-3980-4830

名古屋営業所
〒450-0003 愛知県名古屋市中村区名駅南2-14-19
住友生命名古屋ビル 21F
TEL 052-588-5591 FAX 052-588-5592

HULFT Pte.Ltd.
80 Raffles Place, UOB Plaza 1, #35-07
Singapore 048624
TEL +65 6248 4625 FAX +65 6248 4501

西日本営業部
〒550-0002 大阪府大阪市西区江戸堀1-5-16
肥後橋MIDビル4F
TEL 06-6479-1151 FAX 06-6479-1152

九州サテライトオフィス
〒812-0011 福岡県福岡市博多区博多駅前2-19-27
九勤博多駅前ビル
TEL 092-434-4527 FAX 092-434-4528

URL <http://www.hulft.com/> e-mail hulft@saison.co.jp

このカタログの記載内容は、2016年**月現在のものです。本カタログの記載内容は予告なく変更することがあります。